

翠会ヘルスケアグループ本部通信 (vol. 37)

今月の TOPICS

創立記念日を祝して

(成増高等看護学校 校長 清水 那智子)

9月21日、当校では42回目の創立記念祝賀会を盛大に挙行政致しました。

年来の悲願であった卒業生を迎えて、正に盛大に・・・と、表現したい期待を持って挙行政いたしました。今回は、何としても同窓会の設立まで、漕ぎ着けたいと願って、1回生から今年の卒業生まで全員に案内状を送りました。宛先不明で、戻ってきたハガキも多数ありましたが、学校の思いを乗せて、旅をしてきてくれた事を思い、何時の日か、出席してくださる時があれば、そのときに見て頂ける様、大切に保管して置きたいと思っています。

当日は、超大型の台風が接近中という悪条件にも関わらず、遠く長野から駆けつけてくれた卒業生もいて、感激も一入でした。

第一部は、海外青年協力隊で活躍する男性看護師の講演、「国際緊急援助の経験を通じて見た看護師の将来像」を、第二部は、卒業生、臨床の上司、法人関係者と在校生の交流を目的とした親睦会を、立食形式で行いました。理事長、本部長をはじめ、当校の卒業生でもある本山看護部長が同窓生を6人も引き連れて参加してくださいました。パーティの前には、里岡人財室長による「立食時のマナー」の小講座で大人の振舞いを学び、最大40歳の年齢差を越えて、とても、和やかな交流が出来ました。在校生も、このような先輩が居てくれるのか・・・と心強く思ったようです。加えて、当校の茶道の講師でもある城地先生の協力を得て開いた「茶会」も大好評で、多くの方々に一服の異次元の世界を楽しんでいただきました。

二年課程の学校に、社会人入学という新しい役割が、課せられている現在、卒業生からの精神的援助は、在校生にとって大きな励みになります。良いきっかけが出来ましたので、今後は、同窓会の活動を通して、もっと、もっと、交流を深めて行きたいと思います。

このような行事を行います時、何時も感じますのは、職員として、受け容れながら、学校に通える環境を提供して下さっている臨床、及び関係者の方々のご協力です。無事に創立記念の祝賀会を終えた報告と共に、感謝申し上げます。